

調査結果報告書

調査概要

対 象：都内一般従業員全員（2名）、回答者（2名）、 回収率100%
調査方法：匿名、書面による提出
調査期間：9月24日～9月24日

1.調査結果

（1）現在の介護の状況と今後の見込

- ・ 2人中0人、「現在も介護をしている」と回答。つまり、介護従事者はいない。
- ・ 2人中0人が、「不安」を感じると回答。つまり、不安は感じていない。
- ・ 職場で相談できる雰囲気があるかについては、1人が「ある」と回答。

（2）仕事と介護の両立について

- ・ 小規模の企業であり、仕事と相談できる雰囲気はある。
- ・ 具体的な介護の状況が発生していないので、両立できるかどうか分からない。
- ・

（3）介護が発生した際の働き方

- ・ 介護は育児と同じように介護に専念するための期間であるという認識がある。
- ・ 具体的な介護の状況が発生していないので、分からない。
- ・

（4）介護保険制度等について

- ・ 地域包括支援センターや社内介護休業制度を知らないという実情がある。
- ・
- ・

2.調査結果からの判明した課題

- ・ 介護制度の周知が徹底されていないことが分かる。
現在の公的介護保険制度及び社内介護休業制度について周知が徹底されていない。
地域包括支援センターの存在や社内介護休業制度の存在を知らない。
- ・ 介護休業の意味を正確に理解していないことが分かる。
介護休業は、育児休業と同じように休業して介護に専念するという捉え方をしていた。
介護休業は、介護の準備期間という位置づけも存在するということを理解していない。